

令和2年 第6回 根室市教育委員会 会議録

1. 非公開案件の審議（会議録省略）

(1) 議案第32号 令和2年度教育費予算案を市長に提出することについて

結 論 原案どおり決定

(2) 議案第33号 根室市教育支援委員会委員の委嘱又は任命について

結 論 原案どおり決定

(3) 議案第34号 教育上特別な支援を必要とする児童の教育措置に係る諮問について

結 論 原案どおり決定

(4) 議案第35号 根室市文化賞審議会委員の委嘱について

結 論 原案どおり決定

2. 意見交換

○目的

教育行政の課題についての情報共有、さらには頂いた意見を今後の事務を進める上での参考とするために行うもの

○テーマ

・「根室市における新型コロナウイルス感染症対策」について

【 教育部長 】

市立根室病院における検体採取の検査件数は令和2年6月4日現在で47件となっており、2週間で3件増加している。検査結果は陽性1件、陰性46件となっている。本日も1件検査結果が出ると連絡を受けており、検査件数は48件となる。前回の会議では教育委員会所管の施設等の再開について報告を行ったところであるが、本日はこれまで利用を不可としており、令和2年6月2日から解放した施設についての報告をしたい。

総合文化会館では、大ホール客席最大100人、小ホール客席最大50人という形で6月18日まで開放したいと考えている。2階の中会議室、視聴覚室、特別会議室、和室等の窓の設置されていない部屋については4平方メートルに1人の割合で定員を変更し、ドアを開放しての活動に限定し対応を行っている。

青少年センターについては、トレーニング室は同時に最大4人まで、卓球室は同時に最大6人までとしている。卓球室は窓を開けての換気が出来ないのでドアを開放しての利用と使用後は消毒を依頼している。

温水プールについては、トレーニング室は同時に最大2人まで、トレーニング室は窓設置されていないのでドアを開放しての利用としている。採暖室は水泳指導者から数人同時に利用できるよとの要望を受け、同時に3人までの利用に限定し当面の間対応を行いたいと考えている。

来週の月曜日から少年団活動、部活動が再開となるが、少年団活動については本日本文化会館の多目的ホールで指導者を対象とした説明会を開催するところである。説明会では子どもの様子をよく観察しての指導と、感染対策の徹底について各指導者に要請したいと考えてい

る。また、部活動については、根室市外での対外試合について6月中は自粛し、7月からの再開を考えており、この件については、管内の校長会とも連携のもと意識統一をして実施していきたいと考えている。

本日は学校再開についてのニュース等も見受けられるが、学校行事に係わっての工夫や在り方等でご意見があれば伺いたい。

【 委 員 】

夏休み前に運動会、体育祭の実施はあるのか。

【 教育長 】

実施はない。

【 委 員 】

中止ではなく延期となるのか。

【 教育部長 】

花咲港小・歯舞を除く郡部校は中止の措置をとっている。

【 教育長 】

残りの市街地の学校についてはこれから校長会の方と協議を進め対応を検討する。

【 委 員 】

学芸会や文化祭の実施はあるのか。

【 教育長 】

北海道教育委員会では感染症対策の徹底を行えば運動、文化的行事を実施しても差し支えないという考えで、実施するか最終判断は市町村で行うようにとの方針である。

【 教育部長 】

厚床小中学校については短距離走とリレーのみ校内行事として行うか検討しているとのことである。同校については地域の運動会と共同で実施しており、参加者には高齢者も多いので感染症予防のためにも運動会の中止措置をとったが、校内規模での催しとして実施を検討しているとのことである。

【 委 員 】

少年団活動や部活動でバス移動をすることもあると思うが、バス移動については許可しているのか。

【 教育部長 】

スクールバスについては運行しているが、部活動や少年団活動については、7月からの対外試合等で根室市外に移動する際のバス移動は控え、保護者の協力のもと少人数で換気を行いながら自家用車移動での対応を考えており、本日開催の説明会でも各指導者に協力を要請するところである。

【 委 員 】

学校を風邪症状で休んだ子どもについては欠席扱いとなるか。

【 学校教育指導主幹 】

風邪症状や高熱、だるさを訴えている子どもについては登校しなくても欠席扱いにはならない。

【 教育部長 】

最終学年の児童生徒には思い出作りの機会を設けたいと考えており、卒業アルバムに載せ

る題材が何もないのはいたたまれないので、状況が改善できるよう検討を進めていきたい。

【 教育長 】

夏休み冬休みについては、夏休みは2週間短縮、冬休みは1週間短縮し、短縮した分で授業時数の確保を行う。その授業に充てる日数で根室市としては学習の遅れを取り戻せると判断し、今回の対応を決定したところである。

【 委 員 】

予定では1日6時間授業を進めるのか。

【 学校教育指導主幹 】

そのように予定している。

【 教育長 】

給食の提供も実施する。

【 委 員 】

教員の働き方改革が進められているが、教員も夏休み冬休みは取得できるのか。

【 教育長 】

原則から申し上げれば教員に夏休み冬休みはない。児童生徒の長期休業中も教員は学校で勤務をしている。

【 委 員 】

消毒は実施しなければならないのか。

【 学校教育指導主幹 】

消毒作業を行う前提で学校の再開と少年団の施設利用を許可している。

北九州市の方で感染が拡大しているが、根室まで影響が出なければ長期休業期間を利用したの授業時数は確保できると思われる。

文部科学省は小中学校1年生と小学校6年生、中学校3年生の授業時数については最優先で保証するよう全国に要請しているが、根室市の場合はすべての学年を保証しなければ深刻な事態に陥り可能性があり、その部分も含めて夏休み冬休みの日数を短縮して授業時数を保証するよう対応を進めているところである。

行事関係でも児童生徒の思い出作りのため、修学旅行は実施させたいと考えている。

【 委 員 】

中学校の修学旅行先は都市部になると思われ対応が困難になると予想される。

【 学校教育指導主幹 】

移動方法として札幌市を避けて洞爺湖や小樽方面に向かう案も上がっており、小学校もオホーツク管内なら実施可能かと思われるので、子ども達のためにも実施できる方法を現在検討中である。

【 委 員 】

今の小学生の親世代やその上の世代が子どもの時は地域の大人と交流できるイベント等に参加する機会が多く、そこで愛郷心が育まれると思われるが、何もイベントが無く隔離される環境で育った子ども達がこれから中学校、高校を卒業してどれだけ根室に残るのかが疑問に思うところである。大規模でのイベントは実施できないが、地元の素晴らしさを伝え愛郷心を育む授業を行うことが今後必要となるのではないかと。

【 教育長 】

今年度から北方領土学習には力を入れて取り組む方向で考えており、また、例年落石中学校は修学旅行先を東京に設定し、東京で地元の海産物を配布する活動を行っている。ただ、郡部校の子ども達については地域との交流が見受けられるが、市街地地域の子ども達については地域との交流が希薄な印象を受ける。この部分に関してはコミュニティスクールにも係わることなので、今後検討を重ねなければならないと考えている。

【 委 員 】

年間を通してコロナ対応を実施していくことになるか。

【 教育長 】

社会全体が「With コロナ」という方針で動いており、根室市においてもそれを前提として対応を進めていかなければならないと考えている。

【 教育長 】

本日頂いた意見を参考とさせていただく。

午後2時40分 閉会